

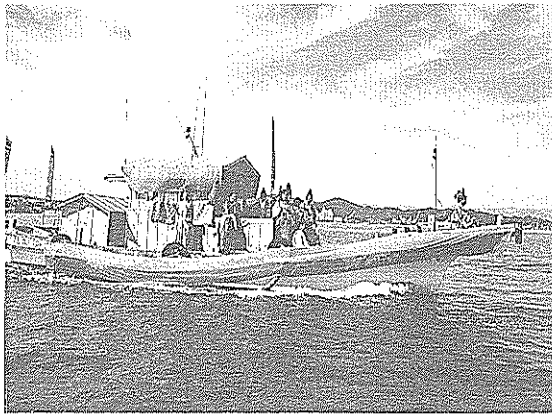
# 貫之の心に触れる

## 土佐日記船出まつり

### 海上に繰り広げられた平安絵巻

文学性豊かな紀行文「土佐日記」を追体験し、南国市の文化の発展と活性化を図る市制三十周年記念事業「土佐日記船出まつり」が、十月十五日に市民約百人が参加して行われました。

まず、「土佐日記の碑」が建立されたばかりの紀氏邸跡で安



十市へ向かう王朝船

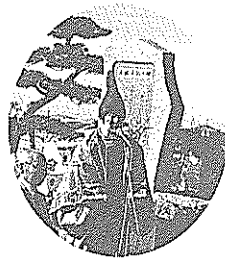
文学性、紀貫之の心情についての講話が続いて、国分寺住職らが船旅の安全を祈願、祝杯を上げました。

この後、バスで高知市弘化台へ移動した参加者は王朝船、まほろば囃子船、歌詠み船など十隻に乗り込み、出航。途中桂浜へ回り、大湊へ向かいました。

この日は、青空が広がり、波も穏やかな絶好の海路日和。まほろば囃子船からは絶えず笛や大鼓

の音が響き、船旅は快適そのもの。途中、十市で地元の歓迎を受け、祝のもち投げを行い、約一時間半後、前浜に到着しました。

大湊でも盛大にもち投げが行われた後、浜改田漁協婦人部と日章婦人会の皆さんの心尽くしの手料理で祝宴。船中で作った歌や句が披露され、千余年前の昔をしのいでいました。



紀氏邸跡で

船出まつりの中で、参加者が詠んだ短歌二十三首、俳句八首の一部を紹介します。

### 短歌

千年へし船路のあとをたどり来て 紀氏の心は如何なりけん 瀧治

たゆたえる小舟に心遊ばせて 紀氏の船路の往時を偲ぶ 岩貞健一郎

千年のむかしを今に船出して 人をしのぶもえにしとぞおもふ 中田憲秀

新しき年の船出を祝ふがに 島光則

古りにし里に紀氏の歌碑建つ 水哉

土佐日記舟路のかど出平成の みたにうつさむ海ばらをゆく 吉田和世

千古なる貫之を偲ぶ王朝船 風ぎの海面に白き水脈ひく 門田美枝子

比江の里雅の絵巻き人集い 三十年の祝い刻みとどめん ひろし

まほろばの紀貫之と旅し日は はやしを奏で平安に施す 読み人知らず

承平の御代いまにうつして漕ぎ ゆかむ 土佐日記のみやび花咲ける今日 吉川定子

まほろばの足跡追いし船旅は 浦戸のうみの波も静けき 読み人知らず

潮騒のひびき仄かに聞えくる 望の月夜も鱧は軋むらむ 葛目治子

承平の大富人の心もて ふるまい受くる土佐ごもくずし 高橋佐代

いつまでも胸の鼓動をうちつつ まくまほろば囃子の太この首は 島田美津子

大津より浦戸をさして漕ぎ出せし 貫之舟を今日偲びつつ 島光則

### 俳句

貫之の京への舟路追ふ小春 竹内とし子

秋深し史跡乃旅や土佐の海 佐竹悦実

いろめきし船路つらねし秋のうみ 常美

土佐日記の潮路を追ふて秋惜しむ 高橋以登

まほろばに船出囃子の秋深む 和泉まき子

紀氏偲ぶ舟は静かや土佐の秋 吉川妙子

御座船を見送る意や秋を舞う 吉川節

### 映画「南国市」完成

市内の景観や文化活動を活写したこの映画を借し出します。ぜひご利用ください。

上映時間 二十九分

種別 一六ミリVTR

借し出し 無料

申し込み 視聴覚ライブラリ

1 ( ☎ ) 2111内線533

お待ちしています